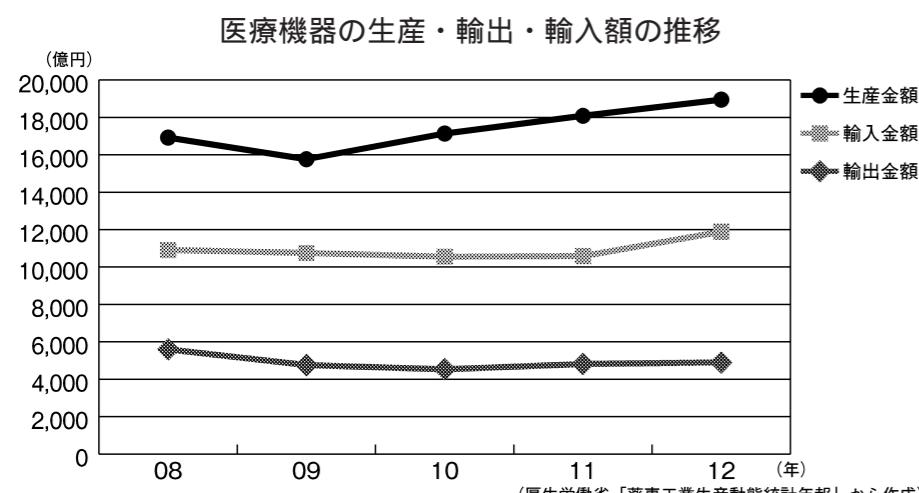


事業拡大に向けた動き高まる

医療



軸に15年度までに250億円規模のM&A（買取）を強化する狙いもある。大陽日酸は在宅医療機

た米国の救命救急機器大手ゾール・メディカルの主力製品「ライフ・ベスト」が軸となる。同製品は、心停止リスクのある患者に電気的な刺激を与えて心臓の働きを回復する着用式の除細動器。通常の除細動器は体内植え込み型が主流だが、ゾール製品は肩ベルトとボディベルトで除細動器を固定し着脱可能にした。患者の負担が軽い差別化製品を世界規模で拡販するほか、ヘルスケア事業を入れ歯を設計する米国ベンチャーも買収。3Dプリンターに適した義歯材料を開発して3Dプリンター技術を組み合わせ、ヘレウスの販売網で展開する一括提供体制を目指す。

三菱ケミカルホールディングス

イングスは4月にヘルスケア中核会社「生命科学インスティテュート」を新設した。一方で国内産業ガス最大手の大陽日酸の子会社化も決めた。この買収はヘルスケア事業

連)」を化学、住宅に次ぐ第3の柱に育てる」。4月に旭化成社長に就いた浅野敏雄氏は自らの使命をこう話す。浅野社長は医薬品の研究開発を長年担当してきた。医薬畠出身者が初めて社長に就いたことで、ヘルスケア事業強化に働くことを内外に強く印象付けた。

医療機器分野では12年11800億円で買収し

三井化学もヘルスケア事業強化に向け、13年にドイツの産業用貴金属加工手ヘレウスの歯科材料事業を550億円で買収した。3次元(3D)スキヤンした歯型データを基にCAD/CAMで

人工透析など在宅医療の研究も進めており、20年度にヘルスケア分野で500億円の売り上げを目指す。

化学大手 相次ぎ強化策

M&A による会社設立

器の販売レンタル、定期保守点検や修理までの総合サービスを展開している。この販売網に三菱ケミが医療機器として売り込む人工炭酸泉製造装置を組み込めば、販売増を見込める。

大陽日酸は酸素ボンベ事業も手がけている。アルミニウムに炭素繊維を巻いて

强度を増した酸素ボンベの開発で三菱ケミカループが持つ炭素繊維の技術を生かす考え。生命科学

大陽日酸は心拍計など
宅医療器の販売・レンタ
ルを展開

化学各社が医療関連事業を強化している。中国メーカーによる生産過剰で汎用化学品の市況悪化が続く中、高齢化による需要増が見込めることから、医療関連産業を次の成長基盤に育てるためだ。2011年以降、相次ぐ大型投資で事業基盤を固めた化学大手が本格的な事業拡大に着手。対する医療機器メーカーも独自戦略を打ち出し始めた。

歐米や新興国で市場開拓

機は世界の1割におたる約3兆円。年間数%の成長を維持しているが、CTや磁気共鳴断層撮影装置(MRI)、超音波画像診断装置などの診断系機器は市場が成熟気味だ。一方、市場規模が大きく需要も堅調な治療系の機器は大幅な輸入超過に陥っている。ペースメーカー、人工関節、チューブ、カテーテルなどの侵襲性が比較的高い機器は海外勢が市場を圧倒する。国内メーカーは海外勢の開拓を積極的に進める一方、日本発の独創的な治療機器や技術を創出し国内市場を奪回することも求められていく。

高機能機器の製販拡充 欧米や新興国で市場開拓

A mannequin torso wearing a white, padded, strapless vest with a black belt and a black rectangular device attached to the belt.

インステティテュートの販売網を通じて大陽日酸の医療用ガスを拡販するなどの相乗効果を狙う。 東ソーは島津製作所、産業技術総合研究所、神戸大学などと抗体医薬品などを高効率・低成本で製造する技術を実証するための生産設備を神戸市内に整備し、17年度にも製薬各社向けに治験薬の受託製造を始める。 自器ライフ・ベスト
米ゾールの着用式除細動器
の確立を目指す。

このようにJSRは資本参加を通じて外部から知見や技術を取り込みながら、高分子の設計や製造といった自社の得意技術をライフサイエンスに応用する方針。16年ごろには持分法適用会社を含めたライフサイエンス事業の売り上げを200億円以上の規模に育てる。

大陽日酸は心拍計など在宅医療器の販売・レンタルを展開

ライフサイエンス特集

化学の力で、
世界を笑顔で
満たしたい。

住友化学は、工業薬品、合成樹脂、情報電子関連素材、農薬・肥料、医薬品など、幅広い産業や豊かな暮らしづくりを支える製品をグローバルに提供しています。これらの分野で培ってきた様々な技術のコラボレーションで革新的な技術や製品を生み出すこと。それが住友化学が推進する「創造的ハイブリッド・ケミストリー」世界中の人々の笑顔に貢献できる次の化学を求め、私たちの挑戦は続きます。

豊かな明日を支える
創造的エネルギー

